

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

## 千葉県内3箇所で市民相談会が開催されました

羽田空港の現在の運用についての市民相談と併せて、羽田空港の増便に伴い一定の時間帯に現在の飛行経路を飛ばなくなることや新たな影響軽減の方策の検討状況について情報提供を行うとともに、皆さまの質問や疑問にお答えする市民相談会が千葉県内3箇所（千葉市、松戸市、木更津市）で、のべ6日間開催されました。

### 400名以上の方が参加

市民相談会は、より多くの皆さまに来場いただき、一人一人の声を聞けるよう、オープンハウス型で行われました。

開催期間中は、のべ400名を超える方々に来場いただき、さまざまなご意見や質問、相談等が寄せられました。

また、各地域の皆さまのご関心に応じた形で、パネルや映像資料などを用いた情報提供が行われました。



市民相談会(千葉市会場)の様子



市民相談会(松戸市会場)の様子



市民相談会(木更津市会場)の様子

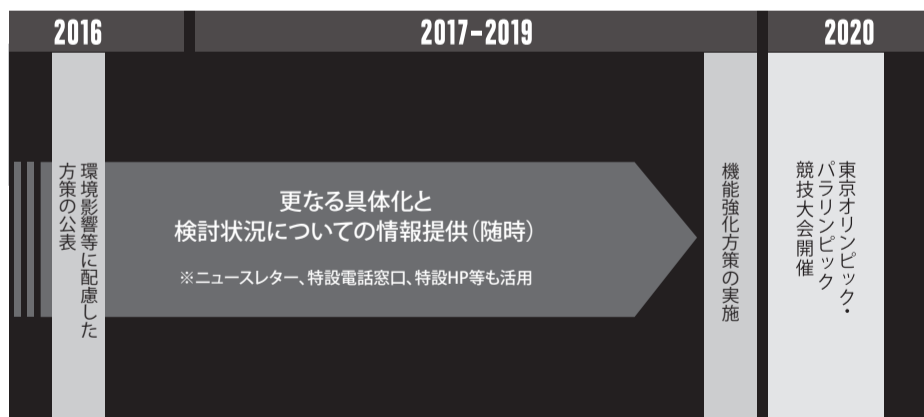


	開催日	会場
千葉市会場	平成28年12月16日(金) 13:00~19:00	千葉都市モノレール 千葉駅2階ひろば
	平成28年12月17日(土) 11:00~17:00	
松戸市会場	平成28年12月18日(日) 11:00~17:00	松戸市女性センター ゆうまつどホール(4階)
	平成28年12月19日(月) 13:00~19:00	
木更津市会場	平成29年1月29日(日) 11:00~17:00	イオンモール木更津 2階イオンホール
	平成29年1月30日(月) 13:00~19:00	

## 引き続き影響軽減策の具体化を進めています

これまで、南風好天時ににおける到着経路の高度引上げ、北風時の富津沖の海上ルートの使用、より静かな航空機の導入や導入を促すための空港使用料体系の見直しなどが講じられましたが、これ以外にもさまざまな対策の具体化に向けて検討が進められています。市民相談会ではこれら方策について説明がなされ、来場された方から多くの意見をいただきました。今後もさまざまな対策の検討・実施が進められます。

飛行経路見直しの具体的な内容や、その影響の変化については、ニュースレター地域特別号2016年冬号に記載されています（ニュースレターのバックナンバーはホームページに掲載）。これからも羽田空港の国際線増便の取り組みについて、引き続き、幅広い情報発信や丁寧な情報提供が行われます。



ご意見はこちらまでお寄せください。

■ ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>



羽田空港のこれから

検索



ご意見フォームから直接投稿できます。

■ 電話でのご意見は

**Tel 0570-001-160**

(IP電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口』  
受付時間：平日9:30～19:00





# 皆さまから寄せられたご意見

## ～意見要旨～

〈ご意見の整理方法〉寄せられたご意見は、主張や要望の理由となっている皆さまの関心事に着目して整理しています。少数意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見数の多寡にとらわれず整理しています。

## 現飛行経路の課題と対応方策

### 現飛行経路に関わる課題

#### 【音】

- 千葉は現況でも飛行機の音に悩まされているので、音の影響を減らしてほしい。
- 飛行機の性能の向上や便数の減少などにより、千葉では以前よりも音の問題は減ってきている。

#### 【飛行への不安】

- 千葉市上空で飛行経路が交差することによる事故の発生が心配だ。
- 飛行機が通過することに不安を感じる。

#### 【便数】

- 現行の飛行経路での運航便数をできる限り減らしてほしい。

#### 【経路】

- 着陸時の直線進入区間が長すぎる。もっと空港の近くで旋回するようにしてほしい。

### 現飛行経路の課題への方策

#### 【騒音対策】

- 現飛行経路について、早朝や夜間の音の影響を減らしてほしい。

- 高度をできるだけ上げてほしい。
- 現行の飛行ルートをできるだけ海の上などとしてほしい。
- 富津沖海上ルートにより一層の活用により、陸上への影響が少なくなることを期待している。
- 現状の千葉市上空での飛行経路の交差を無くしたり、位置を変更するなどにより、交差による騒音を解消してほしい。
- 騒音対策、安全対策の工夫がなされているが、更なる騒音への対策をしてほしい。
- これまで既に騒音対策をしてきた地域、施設に対しても、更なる対策の強化や補助をしてほしい。

#### 【機体】

- 飛行機から発生する騒音をより小さく抑える方策を検討してほしい。
- 騒音を抑制するために、大型機の制限を検討してほしい。

#### 【環境モニタリング・計測】

- 現飛行経路の騒音を測定し、生活への影響を十分に調査してほしい。

### 安全上の方策に関すること

#### 【安全対策の確実な実施】

- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。

#### 【各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）】

- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や自身の健康検査を徹底してほしい。

### 飛行経路の見直し等による影響軽減方策

#### 【飛行経路】

- 騒音が少しでも軽減されることを期待しているので、夕方の新飛行経路での運航を早く実施してほしい。
- 現行の飛行経路は千葉県に集中しすぎていると思うので、経路の変更や東京との分散化を進めてほしい。

#### 【運用時間】

- 新飛行経路の午後の運用は夕方に限定し、夜遅くまで運用するのはやめてほしい。
- 提案されている夕方の時間帯であれば問題ないのではないか。
- 新飛行経路での運用時間をもっと長くすれば、現飛行経路を通る飛行機が減り、現状の騒音の解消につながるのではないかと。
- 現状の夜の騒音が気になるので、新飛行経路の運用を夜間にし、分散させてほしい。

## 羽田空港国際線増便の必要性と実現方策

### 羽田空港国際線増便の必要性

#### 【海外渡航の利便性（アウトバウンド）】

- 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。
- 羽田空港からの就航都市を増やしてほしい。

#### 【成田空港との連携】

- 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も同時に進めてほしい。
- 羽田空港の機能を強化しなくても、更なる増便やアクセス改善等により成田空港をもっと活用すれば十分ではないか。
- 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないか。
- 成田空港と連携するため、羽田 - 成田間の交通アクセスを良くしてほしい。
- 東京、千葉に2つの国際空港はいらないと思う。

#### 【他空港との連携、機能分散等】

- 羽田空港の機能強化と併せて他の空港を活用する必要がある。
- 羽田空港と成田空港以外の空港をもっと活用すべきではないか。

#### 【今後の更なる機能強化への期待】

- 深夜・早朝時間帯なども更に活用してほしい。

#### 【その他】

- 羽田空港の利便性向上は地域にとって望ましい。

### 羽田空港国際線増便の実現方策

#### 【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】

- 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないかと。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないかと。

#### 【滑走路増設】

- 抜本的な課題解決のためには、新たな滑走路増設とそれに合わせた飛行経路見直しの検討が必要ではないかと。

### 実現方策に関わる心配、懸念

#### 【音】

- 現況でも羽田空港や成田空港に往来する飛行機による音に悩まされているので、これまで以上に騒音が増えるのは心配だ。

- 千葉における新たな飛行経路では、高高度で設定されているため、騒音などの影響はあまり気にならないのではないかと。
- 想定される音を体感したことで影響の程度が判断できた。不安が解消できて良かった。

#### 【便数】

- 羽田空港の機能強化により、現飛行経路の1時間あたりの運航便数が、それほど増えないと聞いて安心した。

#### 【安全】

- 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を低空で飛行するので、事故によるリスクが高いのではないかと。

#### 【その他】

- 人の往来が増えることで、伝染病などのリスクが心配だ。
- 飛行機がテロの標的とならないか心配だ。

### 賛否のみの意見（必要性、実現方策）

- 羽田空港の機能強化の必要性は理解できる。

## 進め方（全体）

### 検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

#### 【コミュニケーション】

- 市民相談会の開催について高く評価する。
- 継続的に説明会や対話の機会を設けてほしい。

### 検討の進め方（プロセス）

#### 【受益と負担、公益性等のバランス】

- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わないようにしてほしい。
- 広範囲にメリットがもたらされるとしても、負担は飛行経路下の一部の住民に集中するのは不公平だ。
- 東京と千葉の住民が平等に騒音の負担を負う様に、現飛行経路と新飛行経路の運行時間帯を考えるべきだ。
- 新飛行経路は千葉の住民にも配慮したものになっている。

### コミュニケーション方法

#### 【周知】

- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。

#### 【説明会の開催場所・日時・回数】

- よりきめ細かく開催してほしい。影響があるのに説明会が近隣で開催されない地区がある。

- 通りがかりの人にも説明会を行っていることがわかる様な工夫が必要だ。

#### 【意見の反映】

- 住民の意見をしっかりと聞き、反映してほしい。
- 飛行経路や増便数が決定する前に情報を公開し、意見を聞いてほしい。

#### 【説明や対話の手法】

- 機能強化の必要性や実現方策が理解でき、意見や質問が個別に言えるので、この様な説明会が開催されるのは良いことだ。
- 今回の説明を聞いて不安が解消し安心した。
- 住民間で意見共有がしにくい。集会型、教室型の説明会も開催してほしい。
- ホームページのコンテンツを更に充実させ、更新の頻度も高めてほしい。

#### 【その他】

- 特設電話窓口の受付時間が短すぎる。夜間や休日も開けてほしい。
- HP からメールで意見送信ができると言っているにも関わらず不具合が続いており、意見を聞く姿勢が感じられない。

### 情報提供

#### 【更なる情報提供】

- 現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 飛行経路や運用情報をHP等でわかりやすく示してほしい。
- 環境影響に関する情報を教えてほしい。たとえば、環境影響調査や環境アセスメントなどを示してほしい。
- 高度引き上げに伴う新飛行経路の一部修正の経緯や、音や高度などがどのように変わるのかについて詳細な情報がほしい。

#### 【わかりやすさ】

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。
- 説明内容がよくわかった。理解できた。
- 聞き手に合った説明を聞くことができて、普段疑問に思っていたことが解決した。
- 騒音影響の評価指標をLden（24時間平均）にすることで、影響範囲を意図的に狭めて見せているのではないかと。

#### 【表現方法の工夫（音や映像等による再現など）】

- 想定される音や見え方を体感できるコーナーがあった。
- 説明資料は、表現や文字の大きさにも配慮してほしい。